

算数 第5学年 わり算の世界を広げよう [小数のわり算]

検討会の想定問答

指摘 1：本時で何を明らかにするのですか。

返し：中心は「小数で割る意味を捉え、商が変わらない性質で計算する」です。本時の課題は「小数の除法を整数で割る計算に直し、両方の数を変える理由を説明する」。児童が「割られる数と割る数を零でない同じ倍率で変えると商は変わらない」という根拠を、自分の確かめ方に結び付けて説明できることを目指します。

指摘 2：単元全体と本時はどうつながりますか。

返し：「小数で割る意味を捉える」から始め、「余りの意味を確かめる」へ進みます。本時では、手順や答えだけでは判断できないところを取り上げ、根拠を確かめます。既習が足りなければ、導入で必要な操作や表し方へ戻ります。

指摘 3：この課題を選ぶ理由は何ですか。

返し：「割る数だけを整数に直せば商は変わらない」という考えと、実際に確かめた結果を比較できるからです。単に誤答を訂正させるのではなく、何を見落としていたかを児童が説明する場面を作ります。

指摘 4：つまづいた児童にはどう支援しますか。

返し：同じ比を表す数直線を並べ、両方の数量を同じ倍率で変えさせる。その後、教師が説明を続けるのではなく、本人に操作した箇所を示してもらいます。同じ例を覚えてただけかを確かめるため、条件を少し変えた場面でも説明してもらいます。

指摘 5：評価の証拠は何ですか。

返し：思①では、「割られる数と割る数を零でない同じ倍率で変えると商は変わらない」を、用いた具体物・図・表・式のうち課題に必要な表現と対応させて説明している。正答だけで判断せず、根拠の箇所を指さす説明や、操作の途中の記録も使います。知①の習得と、理由を述べる思①を区別して記録します。

指摘 6：交流で何を比較させますか。

返し：答えの違いだけでなく、「割られる数と割る数を零でない同じ倍率で変えると商は変わらない」をどこで確かめているかを比較します。教師は説明の共通点と条件の違いを整理し、児童が自分の説明を直す時間を残します。

指摘 7：理解が進んだ児童への課題は何ですか。

返し：「小数で割る意味を捉え、商が変わらない性質で計算する」ために使った方法が、条件を変えても成り立つかを考えさせます。別の数値を速く処理するだけでなく、方法を使える条件や、使えない例を説明する方向へ広がります。

指摘 8：時数と本時の位置の根拠は何ですか。

返し：公式の単元配当は9時間。各次の配分と第3時の位置は本資料の提案であり、公式細案の転記ではない。自校の年間指導計画と学級の既習を確認し、必要な学習を省かず調整します。

指摘 9：学習指導要領との対応はどこですか。

返し：対応箇所はA(3)です。東京書籍の細案「学習指導要領の内容」に明記された内容項目。枝項目は原文欄に保存。用語の暗記だけにせず、課題の解決と説明の中で内容を扱います。

指摘 10：時間が足りないとき、何を優先しますか。

返し：「割られる数と割る数を零でない同じ倍率で変えると商は変わらない」を確かめ、初めの説明を直す場面を優先します。発表する方法の数は絞っても、全員が根拠を示し、教師が思①の証拠を得る時間は残します。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

